

学力向上フロンティアスクール用中間報告書（中学校）

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	桐生市立北中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	0	6	18
生徒数	53	71	57	0	181	

研究の概要

1. 研究主題

自らの生き方を探求する生徒の育成を目指して  
～一人一人の実態に応じた、きめ細かな教科指導の工夫～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

\* 実施学年・教科  
全学年・全教科

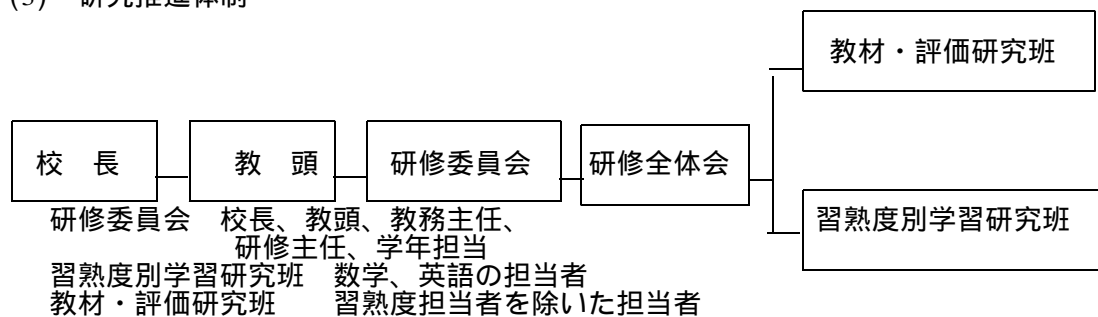
- ・研修体制の確立と効果的な学力向上の観点から全教科においてきめ細かな教科指導の工夫に取り組んでいる。
- ・実態を踏まえ、学力差の大きい、数学、英語においては、習熟度を生かした少人数学習に取り組んでいる。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 一人一人の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫</p> <p>研究の見通し 「確かな学力」の向上を支える基本的な生活習慣の定着を踏まえた「学び方」を育成する中で個に応じた「きめ細かな指導」の工夫、改善を図る。</p> <p>研究の内容・方法 学びに関する実態調査の実施と分析 学力向上を支える条件整備 朝読書の設定 基本的な生活習慣の育成 補修、補充学習の工夫 保護者、地域への啓発 班別研修による指導方法等の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別学習研究班：班編成のあり方、班別による評価のあり方</li> <li>・教材・評価研究班：一斉指導におけるきめ細かな教科指導のあり方、個を生かす評価のあり方</li> </ul>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 一人一人の実態に応じた学習内容の工夫や指導方法・指導体制の工夫と実践</p> <p>研究の見通し ・学びに関する実態調査を生かした教科指導の工夫 ・学力向上を支える条件整備の強化 ・生き方、学ぶ意義の指導の強化 ・前年度の実践研究の視点を継続しながら、それぞれの研究班の課題解決に取り組む。</p> <p>研究の内容・方法 前年度の方針を踏まえ、さらに一人一人の学び方、意欲、思考力判断力を伸ばす教科指導のあり方を探る。 ・習熟度別学習研究班：班編成のあり方、評価のあり方等 ・教材・評価研究班：個人差に対応する方法、効果的な時間配分等</p>
--------	---

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

意識調査から  
 生徒、保護者を対象にした意識調査を行った結果、学習に対する取組状況や、保護者の少人数学習に対する考えなどを把握できた。特に、少人数学習を好ましいと考えている生徒は数学で1、2年とも70%程度、英語は1年で60%程度あり、おおむね良好である。保護者は少人数学習について80%程度が良いと思っている。また、クラスの分け方は学習の難しさで分ける方法を良いと思っている保護者が80%程度いる。保護者会などでも話題の一つとして学力向上が出ており、保護者の意識の高まりも期待できる。

学力向上を支える条件整備による効果  
 朝読書の設定により、学習に対して落ち着きをもって取り組む姿が見られるようになり、また、読解力向上も期待される。さらに、補充学習時間の設定により、主体的に学習しようとする生徒も現れるようになった。保護者への啓発活動を通しては、家庭における学習への意識付けとともに、学校教育に対する理解も高まりが期待される。

各教科での取り組みから  
 各教科において「確かな学力」向上対策を練ることにより、教員の意識も高まりつつある。そして、各教科においては指導と評価の一体化を中心とした「きめ細かな教科指導」の研究が行われるようになった。

#### 2. 今後の課題

望ましい生活習慣、学習習慣が身につくよう効果的な指導・態勢の充実がさらに必要である。また、学習に対する目的意識を向上させるための個に応じたきめ細かな指導が必要である。さらに、それらの指導と連携を図る中で、各教科における一人一人の実態に応じた特に指導と評価の一体化をふまえたきめ細かな指導の充実が課題である。さらに、本校の実態として、学び方も含め、学力が二極化し、一斉指導の中で個に応ずる指導のあり方が大きな課題である。

学力把握のための学校としての取組

平成15年度 生徒、保護者に対する意識調査（平成16年度と比較する予定）  
平成16年度 学力向上の成果と課題を調べる学力テストを実施予定

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度 保健体育科公開授業（桐生市内）  
・平成16年2月2日（月）  
・2学年「バスケット」  
平成16年度 英語、数学等公開授業予定（東部管内）  
HPにおいて、学力向上に対する取り組みについて公開予定  
県総合教育センター、市教育委員会、市の教育研究会発行の教育情報誌に学力向上フロンティアスクールへの取り組み内容を記載  
学校だよりで保護者に説明（随時）

- ~~~~~
- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                       10～12学級  
                                  13～15学級                    16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       数学                       理科  
                                  外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無